

社会と企業の「協創」を活性化



みなと CSR アイデアソン

企業は地域社会の存在なくして事業はできません。地域社会は企業やNPOなくして社会的・経済的発展は期待できません。そこで平成26年度より、東京都港区内の企業・団体やNPOなどと、港区在住・在勤・在学の皆さんの「対話」や情報交換を定期的を実施し、港区発の「新しいCSRの流れ」を創造してきました。27年度は引き続き、株式会社オルタナ、みなと環境にやさしい事業者会議(mecc)と港区立エコプラザの三者協働で、さまざまな立場の人がCSRやソーシャル・ビジネス、環境・社会的な活動実現について積極的にアイデアや意見交換を展開していきます。

<参加者募集>

第6回 **3月15日(火)**
18:00~20:00

テーマ: **熱**

第1部 活動事例プレゼン / 40分
東京工業大学
日本水フォーラム

第2部 CSRアイデアソン / 80分
テーマ: 地域で取り組む地球温暖化対策

ファシリテーター **オルタナ**

- ところ 港区立エコプラザ
(浜松町1-13-1 / JR浜松町駅より徒歩4分)
- 主催 港区立エコプラザ、株式会社オルタナ、
みなと環境にやさしい事業者会議(mecc)
- コーディネーター 森撰 / オルタナ編集長
- 参加対象 港区の事業者、港区在勤・在学・在住の
方々を中心に、どなたでも参加いただけます。
- 参加費 無料
- 定員 30名(申込み先着順)
- 申込・問合せ 港区立エコプラザ
(担当: 片平、水野)

★今後の開催予定 : 奇数月第3火曜日★

第7回 ; 2016年 5月17日

第8回 ; 2016年 7月19日

(詳細は改めてご案内)

★事例発表企業・団体を募集★

自社の環境CSR活動など事例発表いただける、
港区に拠点を持つ企業や団体を募集しています。
(詳細はエコプラザに問合せください)

■オルタナとは: 「志」のソーシャル・ビジネス・マガジン。環境やCSR、ソーシャル・ビジネスを中心に報道を続けています。
<http://www.alterna.co.jp/>

■みなと環境にやさしい事業者会議(mecc)とは: 港区で環境・CSRに取り組んでいる企業・事業者の集まりです。
<http://mecc-minato.net/>

■港区立エコプラザとは: 環境に関する教育・学習・交流機会を提供する拠点として、活動を展開しています。
<http://minato-ecoplaza.net/>



<団体発表 プレゼン概要>

●東京工業大学

発表者 ; 名誉教授、国際室国際連携プランナー、特命教授 / 市村 禎二郎 様
『地球温暖化』

20世紀後半の科学や科学技術の発展により、私たちの暮らしは豊かになった反面、人間活動が自然界に負の影響を与え、地球環境が悪化してきました。「地球温暖化」は21世紀最大の地球環境問題といわれ、地球の平均的な気温が上昇するだけでなく、さまざまな気候変動すなわち異常高温や洪水・干ばつなどを伴って、私たちの日常生活にも多大な影響を与えています。将来、地球の平均気温はさらに上昇し、水、食糧、生態系、沿岸域、さらに人間の健康にも悪影響を及ぼすと考えられています。そこで、科学が地球温暖化現象に関して明らかにしてきた事を述べ、地球温暖化を緩和するために私たちにできる対策を考える機会にしたいと考えています。また、東京工業大学の地球温暖化に関する取り組みや地球温暖化に関する講座を一般社会人向けに社会人教育院で開講していることなどを紹介します。

●特定非営利活動法人日本水フォーラム

発表者 ; 副ディレクター、打ち水大作戦本部 / 浅井 重範 様
『東京の気温を2℃下げる?! 市民による環境アクション、打ち水大作戦』

江戸時代から続いてきた庶民の知恵「打ち水」が、ヒートアイランド現象に対しいかなる効果をもつのか。「打ち水大作戦」は、その検証をしようという社会実験として、2003年にスタート。今年で14年目を迎えます。気軽に楽しく取り組める催しであると同時に、環境問題に対する意識啓発はもちろん、近隣コミュニティの再生・地域活性化など、「打ち水大作戦」は様々な効果をもたらす“呼び水”ともなっています。

◆打ち水の歴史／打ち水の科学

- ・打ち水はいつから行われるようになったのか、庶民の生活習慣となっていく過程を古典や絵画から読み解きます。
- ・水を打つとなぜ気温が下がるのか。気化熱の原理と、その応用事例について紹介します。

◆打ち水大作戦の始まりと展開

- ・打ち水大作戦はどうして始まったのか、きっかけと打ち水大作戦に参加する多様な人々の姿や事例を紹介しながら、打ち水大作戦の良さや大作戦の様々な効果についてお話します。

◆打ち水「ごころ」と未来の打ち水大作戦 ～2020年に向けて～

- ・都市の中で水はどんな役割を果たせるのか？打ち水大作戦の秘めたる思いやルールに隠された真意を紹介しながら、未来の打ち水大作戦と港区の姿をイメージしてみます。

<コーディネーター>



森 摂(もり・せつ)

東京外国語大学スペイン語学科卒、日本経済新聞社入社、編集局勤務。1987年、環境庁担当として、国連ブルントラント委員会の東京会議・東京宣言「持続的な開発に向けて」を取材、日本初の「サステナビリティ」記事に。1998～2001年日本経済新聞口サンゼルス支局長、2002年退社。NPO法人ユナイテッド・フィーチャー・プレス(現・在外ジャーナリスト協会)設立。現在も理事長。2006年、株式会社オルタナ設立。2007年3月、環境とCSRと「志」のビジネス情報誌「オルタナ」創刊、編集長に就任、現在に至る。

<主催者>

■**オルタナ**とは:「志」のソーシャル・ビジネス・マガジン。環境やCSR、ソーシャル・ビジネスを中心に報道を続けています。2007年創刊。書店で発売中。オンラインニュースやCSRニュースレターも配信しています。 <http://www.alterna.co.jp/>

■**みなと環境にやさしい事業者会議(mecc)**とは:「Minato Eco-Conscious Consortium (略称 mecc)」は、港区で環境・CSRに取り組んでいる企業・事業者の集まりです。港区の事業者と港区民と港区が連携し、これまでにない環境保全活動の取り組みとして「みなとモデル」を全国に発信することを目指しています。 <http://mecc-minato.net/>

■**港区立エコプラザ**とは:身近な環境や地球規模の環境変化や保全について関心を持ち・考え、持続可能な行動に繋がる事に寄与すべく、環境に関する教育・学習・交流機会を提供する拠点として活動を続け、またエコについての情報のハブとして、様々な取り組みについてなどの情報発信も行っています。 <http://minato-ecoplaza.net/>